

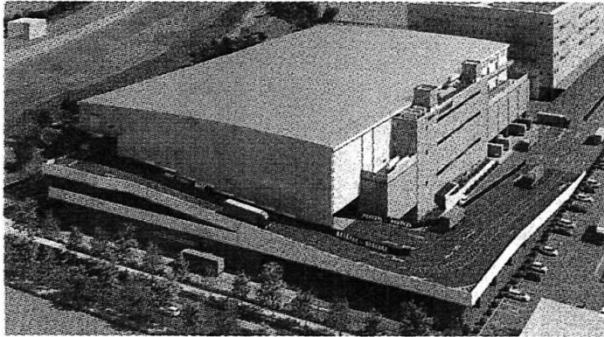
2019年3月5日掲載 輸送経済新聞

トナミ運輸・第一貨物・久留米運送

北大阪TTT新棟入居へ

来春完成、1・2階に

トナミ運輸（本社・富久留米運送（同・福岡県山県高岡市、綿貫勝介社長）、第一貨物（同・山形市、武藤幸規社長）、久留米運送（同・福岡県久留米市、二又茂明CEO）の3社は、泉北高速鉄道（同・大阪府和泉市、福田順太郎社長）が北大阪トラックターミナル（TTT、大阪府茨木市）で平成32年4月をめどに完成させる新1号棟Ⅱの完成予想図Ⅱの1・2階に入居する。



来春4月にも完成する新1号棟。1・2階に3社が入居し、さらなる連携強化を図る。

北大阪TTTの所在地は、茨木市宮島2。大阪都心部から約10キロ、高速道路や主要幹線道路

に近接する北大阪流通業務団地内に位置。新1号棟は4階建てで、延べ床面積は約4万9000平方メートル。幹線輸送のターミナル機能と配送センター機能を一体化させた複合型物流施設となる。

トナミ運輸、第一貨物、久留米運送の3社が入居する1・2階は71パースを備えるトラックターミナルとして整備する。1階にはトナミ運輸と

1階をさらに強化する。また、新1号棟の施設内にはゆったりできる休憩スペース、屋上には緑化を施したリフレッシュ空間を備え、働く人にとって快適な労働環境が整う。配送センターとして、32台分の接車バースを設ける3・4階には食品卸の旭食品が入居し、交通結節点である北大阪TTTに拠点を置くことで近畿エリアの物流機能強化を図る。

新1号棟は、北大阪TTT再開発の起点となる施設で、5日に無事のしゅん工に向けた安全祈願祭が行われる。